

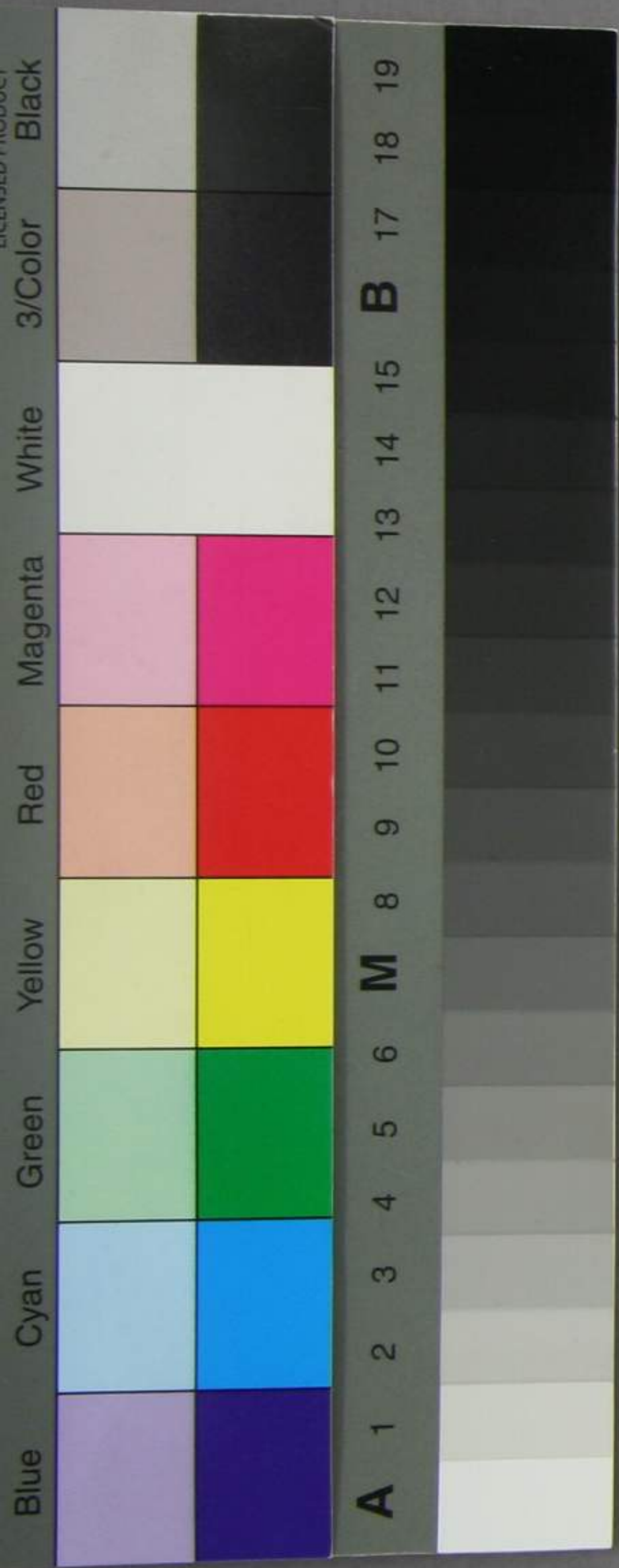
114
A 3269



我々貨幣ヲシテ各港ヨリ輸出セサラシメント欲セハ
 貿易上ニ就キ從來ノ形勢ヲ大ニ変更シ我々高估ヲシ
 テ内國ノ産物ヲ攜帶シテ外國ニ航商セシムルニ非ス
 ンハ則テ安ソノ損失ヲ免カルヘケンヤ請フ其大計ヲ
 説明シ以テ其然ラサルヲ得サル所以ノ理ヲ左ニ開陳
 セン

明治九年後半年前半第二會計年ノ各港輸出入物品表
 ニ概レハ輸出ノ輸入ニ超過スルヲ七百三十一万。八
 百四余ナリ然リ而シテ貨幣ノ出入ヲ比較スレハ輸入
 ノ輸出ヨリ多キヲ三百四十五万一千八百四余ニシテ
 之ヲ輸出品ノ超過ニ比スレハ其半額ニ至ラス是ニ由
 テ之ヲ觀レハ其強半即チ三百八十五万九千四余ハ外

大正十一年四月
隈侯爵邸寄贈



國人ニ於テ輸入物品ノ元價ヨリ賣殖セシモノニ非ス
ヤ今其賣殖金額ヲ以テ輸入元價ノ總計ニ比準セハ二
割九分余ニ當レリ

明治八年一月ヨリ同九年六月ニ至ル一年半ニ於テハ
輸入ノ輸出ニ超過スルコト一千五百七十四万一千九百
四余ナリ然リ而メ貨幣ノ出入ヲ比較スレハ輸出ノ輸
入ヨリ多キ一二千。貳拾五万八千四百四余ニシテ此
中ニ就キ輸入過額ヲ扣除セハ四百五拾壹万六千五百
四余ノ殘額ヲ見ル乃チ其殘額ハ外國人ニ於テ輸入物
品ノ元價ヨリ賣殖セシモノト看做サ、ルヲ得サルナ
リ今其殘額ヲ以テ輸入原價ノ總計ニ比準セハ一割一
分余ニ當レリ

明治七年ニ於テハ輸入ノ輸出ニ超過スル一四百四拾

七万三千九百四余ニシテ貨幣輸出ノ輸入ヨリ多キ一
壹千貳百九十二万三千四百四ナリ此中ニ就キ輸入過
額ヲ扣除セハ其殘額ハ八百四十四万九千五百四余ニ
シテ是亦外國人ニ於テ輸入元價ヨリ賣殖セシ者ニ非
サルヲ得ンヤ今其殘額ヲ以テ輸入原價ノ總額ニ比準
セハ三割七分余ニ當レリ

又明治七年ヨリ全九年ニ至ル三年間ノ總計ヲ以テ之
ヲ乘除スレハ輸出物價ノ輸入物價ニ及ハサル一壹千
貳百九十万五千四ナリ然リ而シテ貨幣輸出ノ輸入ヨ
リ多キ一貳千九百八拾三万四余ナリ此中ニ就キ輸入
過額ヲ扣除スルモ尚ホ壹千六百九拾貳万五千四余ノ
殘額ナリ其殘額ハ即チ輸入原價ヨリ賣殖セシモノニ
非サルヲ得ンヤ今其殘額ヲ以テ輸入原價ノ總額ニ比

準也ハ其平均ハ二割二分余ニ當レリ
人或ハ曰ハシ貨幣ノ輸出スル此ノ如ク夥多ナルハ数
件ノ支出ヲ要スルモノアルニ由レリ即チ外債元利十
リ雇外國人給料ナリ在外公使領事費ナリト此固ヨリ
輸出スヘキモノニ係ス一雖モ何ソ壹千六百九拾余万
圓ノ巨額ニ至ルノ理ヲランヤ令試ミニ之ヲ概算スル
ニ我カ公使領事ノ他方ニ派遣セルモノハ歐米支等ノ
六七國ニ過キス而シテ彼ノ公使領事ノ我地ニ於ル結
盟セシ十六七國ハ大抵駐在セサルナシ然ラハ則チ彼
ノ支費ハ我カ支費ヨリ多シト云フモ蓋シ証ヒサルヘ
シ又外商ノ我地ニ居留スルヤ各其支消スル所ノ
アリ又彼ノ肆舗ノ如キハ夥多ノ貨物ヲ陳列シ或ハ貯
蔵セリ此等ハ固ヨリ内國品ニアラス其初メ輸入スル

ニ方テ之カ関稅ヲ納了シ既ニ輸入中ニ算入セシ物品
ナリ今ヤ若シ此等ヲ精細統記スルノ方法アリ以テ之
ヲ計算セハ前條數件ノ如キ何ソ貨幣ノ輸出スヘキ理
アラシヤ當其出入上ニ於テ些少ノ差額アルニ止マル
ヘシ

且夫レ輸出物價ノ輸入物價ニ超過スル時ハ之カ為メ
輸入スル所ノ貨幣ハ輸出ヨリ多シト雖モ其金貨ハ物
品輸出超過ノ半額ニ及ラス之ニ反シテ輸入物價ノ輸
出物價ニ超過スル片ハ之カ為メ輸出スル所ノ貨幣ハ
輸入過額ヨリ多キト大約二倍已上ニ至ラサルハナシ
是其故何ソヤ即チ所謂外國人ノ輸入元價ヨリ賣殖セ
シモノニ非サルヲ得ンヤ是ニ擬テ之ヲ考テハ貿易
上ニ於テ輸出入ヲシテ差等ナカラシムル乎又ハ稍々

輸出ヲシテ超過セシムルノ日ニ至ルモ恐ラクハ貨幣
ノ輸出ヲ挽回スル勢力ヲ我ニ有スルヤ難カルヘシ國
家財政ノ責任ヲ負擔スル者豈之カ方策ヲ計畫セサル
ヘケンヤ

以上陳述スル所ノ計算ニ就キ之ヲ論スレハ我カ貿易
上大ニ面目ヲ改更シ其針路ヲ一轉スルニ非サレハ到
底國益ヲ得ルノ日無ラシ何ントナレハ假令ハ輸出入
物價ヲ六千万圓ト概算センニ其輸入ヲ三千万圓トナ
スノ地ニ至ルモ輸入元價ニ二割二分半ヲ加フル片ハ
六百六十五万圓許ノ貨幣ヲ輸出セサルヲ得サルノ理
ナリ前條ニ依レリ果シテ斯ノ如クハ更ニ一歩ヲ進
輸入ヲ貳千五百万圓トナシ輸出ヲ三千万圓トナ
スノ地位ニ至ルニ非スハ安シク損失ヲ免カルヘケ

ンマ若シ能ク其地位ニ至ルヲ得ハ輸入品元價ヨリ賣
殖セル金額ヲ扣除シテ始メテ四百三拾七万五千圓ノ
貨幣ヲ輸入スルニ至ルヲ見ル該計三十一万一千九百圓ノ
四ノ輸出過アリシ寸ニ於テ三百四十五万一千九百圓ノ輸
入貨幣アリ又之ニ反シテ總計ノ比例一千二百九十九萬
五千圓ノ輸入過アルヤ二千九百八十三万圓ノ輸出貨
幣アルト其計等比例約ハ同一ニ歸セリ
然リ而シテ他日國產大ニ繁殖シ以テ斯ノ如キ地位ニ
至ルヲ得ルト雖モ明治元年以來其已前ハ之毎年貨幣
ノ輸出ハ七百五十万圓許ト概算シ十年ノ星霜ヲ経テ
其合計七千五百万圓ト計算セハ爾後十七年二月許
ヲ經過スルノ後ニ非ケレハ維新前ニ於テ日本國內ニ
所有セシ貨幣ヲ復入スル能ハサルノ理ナリ
抑モ現今我國ノ形勢ヲ通觀スルニ前條陳述スル如ク
輸入ヲ二千五百万圓トナシ輸出ヲ三千万圓トナ

スノ地位ニ至ルハ實ニ容易ナラサルノ実況アリ然ラ
ハ則テ我國ノ貿易タルヤ結局損失アルヲ免カレサル
ヘシ是レ冒頭ニ於テ我カ貿易ノ形勢ヲ一変スルニ非
サレハ損失ヲ免カレサルノ一言ヲ發セシ所以ナリ今
試ニ其一例ヲ舉ン我カ古_一結ノ鞏直チニ外國ニ航シ
百万圓ノ元價ヲ以テ旧來需求スル所ノ織物_一（仮リニ就
テ論）ヲ輸入シ内地ニ於テ幾割ノ利益ヲ加ヘ之ヲ賣却
スルモ其賣殖金ハ我カ航商ノ手ニ歸入シ而シテ外商
ニ於テハ總輸入ノ内壹百万圓ノ額ヲ減スヘシ何トナ
レハ物品ノ内地ニ需用スルモノハ自ラ程限アレハナ
リ夫レ輸入品ニ於テ猶ホ斯ノ如シ況ンヤ内國產物
以テ我カ航商ヲシテ直チニ外國ニ輸出セシムルニ於
テオヤ且ツ我カ商估ノ鞏外國都府ノ實際ヲ目撃シ志

慮百端益々勉勵スレハ益々輸出スルノ勢ハ必然ナル
ヘシ此ノ如クニシテ漸次進歩スル片ハ然ニ夥多ノ船
舶ヲ運漕シ以テ大ニ通商ヲ開キ歐米各國ト對峙
ニ至ラント然リト雖モ其事タルヤ一躍シテ高點ニ昇ル
ヘカラス故ニ政府モ亦タ高業進歩ノ度ニ從テ之ヲ保
護勸励セサルヘカラス今ヤ通商ノ程度ヲ按スルニ幾
多ノ資金ヲ有スルモ當ニ内國產物ヲ航載シテ外國ニ
發賣スルノ目的タルヲ止マルモノ、如クニシテ夫ノ
船舶ヲ運轉シ宇内各國ト稱ノ有ル處ニ馳走シテ盛大
ノ貿易ヲ為スカ若キハ蓋シ亦其人ニ乏シカラン然ラ
ハ則即今高業ヲ保護スルノ方法ハ内商ノ谷地ヨリ產
物ヲ買聚シ之ヲ開港場ニ運搬シテ輸出セシトスルノ
時ニ當テ政府ヨリ其原價ノ金貨ヲ貸与シ半年或ハ一

年、後漸次之ヲ返納セシメ在外ノ高社及ヒ高民ヲシテ資本金策ニ齷促セシメサルニ在ルノミ若シ該方法ヲ実施セハ内高ノ奮登シテ出航スルモノ頗ル多カルヘレ此ノ如キハ数年ヲ出スシテ輸出入貿易ノ權ヲ漸次我ニ有シ旧來ノ國損ヲ變シテ國益ヲ生スルノ地ニ至ルヤ必セリ

又顧ミテ政府ノ財路ニ就テ之ヲ觀レハ假設ヘハ今年壹百万圓ノ紙幣ヲ以テ航高ニ貸与セハ明年ニ至リ壹百万圓ノ貨幣ヲ以テ返償セシムルヲ得ヘシ然ラハ則チ金庫ヨリ貨幣ヲ輸出セスシテ外債ヲ償還シ又ハ在外國費ニ支給スヘシ若シ尚ホ餘瀝アラハ之ヲ輸入シ以テ内國ノ紙幣ヲ償却スルニ便ナラン今簡明ニ之ヲ再言スレハ政府ハ紙幣ヲ貸与シテ貨幣ヲ領收シ兼テ

國家ノ利益ヲ振興シ人民ノ智識ヲ開達シテ**實効ヲ奏**ルニ至ルハ期シテ待ツヘキナリ果シテ之ヲ實施スルノ日ニ至ラハ貨幣受授ノ件ニ於テ確實ノ規則ヲ設ケ又別ニ二三ノ方法ヲ以テ工商ヲ獎勵シ貿易ノ高權ヲ挽回シ貨幣ヲ以テ紙幣ヲ償却スル等何ソ為シ難キノ理アラシヤ若シ此等ノ方策ニ出テス空レク我カ開港場ニ於テノミ貿易セハ前段論辨計算セル如ク到底國損タルヲ免カレヌ又壹億萬圓ニ幾キ紙幣ヲ毎年少額タリトモ貨幣ト交換支消スルノ目的ハ他ニ其途ヲ得ルヤ難カルヘシ請フ之ヲ省セヨ

天

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

天
非
字

